

天保泥繪草紙 後篇

帝キネ時代映畫

脚色者 監督者 撮影者  
 山上 山下 塚越 山下一  
 島秀 成治

主要役割

片岡直次郎 明石緑郎  
 北村大膳 阪東豊昇  
 暗闇の丑松 中村翫曉  
 松平出雲守 尾上松二  
 大口屋三千歳 南村鶴子  
 お浪 松浪愛子  
 千代川 尾上紋十郎  
 金子市之丞 嵐璃徳  
 河内山宗俊 高木小左衛門  
 高木小左衛門 青木芳美  
 比企東左衛門 東真之助  
 解説 山下秀一氏が同前篇に續いて監督製作  
 した連続時代映畫である。  
 略筋 三千歳は直侍の逢瀬をさかれ思ひ患  
 つた上旬持病を病んで大口の寮に出生に來て

ゐた。丑松の訴人によつて捕手に追はれる身さ  
 なつた直侍は逃られぬを知つて自宅謹慎中の  
 河内山を訪ねその夜三千歳と別れ惜むべく寮  
 へ向つた。一方金子は断絶した昔の我家の跡を  
 なつかしんで佇む折、不圖も彼の前身を知る年  
 番に逢ひ我身の危きを知つた金子は三千歳を身  
 受けして共に逃んじ意を決したがその年季證文  
 によつて彼女こそ幼時に別れた妹である事を知  
 つた。金子は揚屋入り仰せつけられて行く河内  
 山の縄目を解かんとしたが河内山は悪運盡きる  
 を知つてそれを止めた。同じ時刻直侍と三千歳  
 は捕手に追はれてゐた金子はたゞ兩人を安か  
 けて聞かしめん事を願ひ、捕手を身一つに引き受  
 けて聞かしめん事を願ひ、捕手を身一つに引き受  
 女の影は雪原の彼方に消えて行つた。



「天保泥繪草紙」後篇帝キネ山下秀一作品。右より松枝鶴子、明石緑郎。